

芝田 禮二 議員

乳幼児保育問題への 取り組みと対策は

Q 問 待機児童の実態とゼロに向けた取り組みはどうか。

A 答 本年4月1日現在の保育所待機児童数は42名。既存幼稚園の幼保園化の検討、認可外保育園の支援と認可化の促進にも取り組みたい。

Q 問 袋井市の保育料滞納の額と今後の対策はどうか。

A 答 18年度単年度では37世帯338万円余、累計で1,200万円余となっている。通知文書や電話、面談での督促等で回収している。悪質な方には、法的手段の検討も考えている。

工業団地・工業用地の 進捗と方向性は

Q 問 山科東工業団地及び小山工業用地の進捗と小笠山麓の今後の方向性はどうか。

A 答 山科東工業団地は、本年度、造成工事等を予定。小山工業用地は、農地法で定める不許可の例外規定に基づく許可申請の手続準備中である。小笠山麓については、地域の合意形成や地権者の理解を得ることを最優先とし、法的規制の解除に取り組みたい。



調整池の工事が進む山科東工業団地

廣岡 英一 議員

浅羽海岸地域の 環境・景観形成のために

Q 問 養浜と景観形成に必要な海浜植物の保全活動のため、車両の乗り入れ規制ができないか。

A 答 近隣市と同一歩調が必要。法的規制だけでは海岸保全は困難なので、浅羽海岸クリーン作戦、海浜植物の保全を訴える看板設置等を実施してきた。今後も、継続してPR活動したい。

Q 問 グリーンウェイブ地などの日常的な管理には、有償ボランティアの組合を設立すべきと考えるがどうか。

A 答 市と地元住民、協力企業、緑のボランティア等の協力連携が必要。御前崎方式を参考事例として、体制づくりに努めたい。

郷土の偉人の顕彰と 「偉人館」の設置を

Q 問 人づくりや地域づくり、徳育の推進には、郷土の偉人をさらに顕彰し、学び合うことが有効ではないか。

A 答 副読本へ取り入れるなど、機会あるごとに郷土の偉人を顕彰していきたい。偉人館の設置は、将来的な郷土資料館、文化施設のあり方として参考にした。



車両乗り入れにより植物が枯れ、砂の飛散が拡大する海岸